

平成 29 年度 第 7 回 SD 研修会報告

内 容	実践英語講習 2 事務局における留学生の取り扱い（英語の活用その他困難な事例への対応）
日 時	平成 29 年 12 月 20 日（水）15:00～15:50
場 所	1・201 教室
進 行	講師：ウォーカー・ロイド
出席者	7 人参加
議 事 内 容	
<p>内容：来年度より増えていく留学生への支援体制を強化すべく、想定できる諸問題への対応をワークショップ形式で考える。別表 1「私費外国人留学生生活実態調査」を参照しながら留学生の受け入れに関わる諸問題について情報交換を行い、対応策を検討する。</p> <p>（宮崎大学職員の参加も予定していたが、案内連絡が少し遅れたこともあり、参加は見送りとなった。）</p> <p>始めに講師のロイド氏から目的や別紙資料から読み取ることのできる事柄について全体説明があり、会議形式で各部署からの現状の問題、予想される問題について意見を出し合うことになった。</p> <p>（資料から：留学生が苦勞することには、母国との習慣等の違い、物価が高い、宿舎探しの割合が高く、他に教職員とのコミュニケーション、日本人学生との交流などがある。また、在日年数が長くなるほど日本に対する印象が良くなる傾向があるが、それは日本語の理解度が高まることでアルバイトがしやすく、友人ができるなどが要因と推察できる）</p> <p>※意見交換内容については、講師のロイド氏がまとめたものを別添する。</p>	